

日本方言研究会

第106回研究発表会

日時：2018年5月18日(金)
場所：日本大学 文理学部
オーバルホール

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

<https://www.chs.nihon-u.ac.jp/map/>

交通：京王線・東急世田谷線 下高井戸駅下車 徒歩8分

京王線 桜上水駅下車 徒歩8~10分

小田急線 経堂駅下車 徒歩20~25分

午前の部 10:00 ~ 12:35

10:00-10:05 開会の辞

【研究発表】

10:05-10:55 岡山方言におけるヨルとトルのモダリティ

鴨井修平

10:55-11:45 愛媛県南予地方の方言文末詞「テヤ」の用法—世代差比較を中心に—

中川寛之

11:45-12:35 ロールプレイ会話における省略可能な対称詞の使用と対人距離の地域差

山本空

午後の部 14:00 ~ 17:50

14:00-14:50 交換留学生を対象にした「関西方言」授業の取り組み

～既存する方言資料の活用と方言調査活動～

八木和枝, 小松知子

14:50-15:40 関西若年層のカジュアル談話にみるアクセントの切換え

—方言文節量の観点から—

上林葵

15:40-15:50 会場校ご挨拶

16:00-16:50 琉球沖永良部国頭方言の世代別言語継承度

横山晶子

16:50-17:40 南琉球宮古諸方言における接続形終止用法の機能

林由華, ケナン・セリック

17:40-17:50 閉会の辞

18:00-20:00 懇親会:カフェテリア秋桜(会費:一般5,000円, 学生3,000円)